

わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.7 R4,12,16

① 全体的にごっこ遊びを楽しむ姿が多く見られるようになった



男女関係なく
ままと遊びを楽しむ。
これって
蒲幼稚園の特徴かもしれません！

畳や蓆を敷いて、
場を整えます。
自分たちで運びだし、
自由に整えられるから
楽しいのでしょう！



家になったり、船になったり、島になったり…。
外遊びというと活発に体を動かして遊ぶことがメインに考えられてきましたが、こんな風にごっこ遊びが楽しめる環境も大切なんだということを子どもたちに気が付かせてもらいました。

藤棚の下を活用しよう！

多くの子どもたちが遊ぶ園庭で落ち着いて遊べる穴場的スポット。諦めていた藤は見事に再生し、今年きれいな花を咲かせました。その藤棚の下にカウンターと接続させた小上がりのウッドデッキを作ったらどうだろう？との提案を実行することにしました。

壁を作ろう！

畳を立てかけたり、ゴザを垂らしたり、構成ツールを組み合わせて、自分の周りを囲むようにして遊んでいます。子どもって狭いところや隠れることが好きなんですよ！ちょっとした目隠しを作ってみようと思っています。



ごっこ遊びで育つもの

子どもたちは、砂や泥、草花や落ち葉などを様々なものに見立てて遊びます。またお母さんやお姉さん、ネコ、時には海賊になりきって遊びます。実際には違うということを理解しての楽しい遊びです。そのイメージや役割を友だちと言葉を通して共有していきます。大人の援助が必要な場合もありますが、徐々に子どもたちだけで楽しめるようになっていきます。友だちと遊ぶことは、言葉の発達を促したり、イメージを多様に広げるきっかけとなったり、新たな世界を知るきっかけになります。子どもたちが遊ぶ様子を見てみると、そこには小さな社会があり、しっかりと社会性を学んでいることがわかります。

もう間もなく2学期が終わろうとしています。朝晩は冷え込むものの12月だということに日中は過ごしやすい暖かい日が続く、子どもたちは園庭に出て楽しく遊んでいます。園庭の環境が変化して、子どもたちの興味・関心が変わってきていることを感じる毎日です。遊び方が決まっていた、約束事が多い遊具ではなく、自分で遊びを見つけたり、考えたりしなくてはならなくなった環境で、子どもたちは体・頭・心を動かしてたくましく成長しています。明日の園庭プロジェクトを前に、職員で子どもの遊びを振り返り、新たにどんな環境を用意したらよいかを話し合いました。「こんな風にしたらいいんじゃない？」「こうしたら面白そう！」と話し合う職員たちからもワクワク感が伝わってきました。さあ、明日の作業によってどのように変化するのでしょうか？どうぞ、ご期待ください！

② 小さい子どもたちもどんどんチャレンジしていき、様々な気持ちを味わっている



どうやって登ろうか試行錯誤しているところ。ぼくだって登ってみたい憧れの場所。



自然と列になって自分の番を待ちます。やって学ぶ、見て学ぶ。でも、そんなに簡単じゃないから諦めることも…。しばらく時間が経ってからやってみたら「あれ？簡単にできた」ということもあるようです。



中程度のチャレンジタワーを作ろう！

段階を経て、挑戦する意欲を高めていけるよう、低いチャレンジタワーと高いチャレンジタワーとの中間のチャレンジタワーを作りたいと思っています。子どものチャレンジする気持ちを刺激する遊具へとどんどん変化させていきます。

③ 子どもの挑戦する気持ちを安心して見守れるよう砂を敷いたことで走りにくい園庭になっている

地面の環境を整えながら、ゾーン分けをしてみよう！

子どもたちが運び出した砂を砂場に戻し、大まかなゾーン分けをしてみようと思っています。全体的に草の生える土壌へと変化させていけたらいいなあ…。



ワールドカップの影響でしょう。サッカーに興味を持つ子どもが増えました。広場の環境も整えたい！

④ その他いろいろ

おもちゃの棚の改善や構成ツールの補充、『よりみちはらっぱ』の整備など、職員から出てきた意見を基に、子どもの遊び場としてより良い環境になるよう、いろいろなことに取り組んでいきます。

落ち葉の Party♪
今年もきれいなイチョウの葉が落ちてきました。

